

自動車整備科、一級自動車工学科、 自動車整備・カーボディマスター科、 自動車整備・マスターメカニック科、 自動車整備・トータルマスター科			2025年度 授業計画		
時 期	1年前期	単元	学科	教科名	エンジン構造 1 F
科 目	自動車工学	教科書等 持参品	3級自動車ガソリンエンジン 日産整備士テキスト3級エンジン ガソリンエンジン構造		発行日 2025年5月22日
総時限	31時限		教科	坂本 晃一	
必須時限	31時限		担当	小田 遼平	
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当					
自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの構造・作動について指導する。					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）					
1. 4ストローク1サイクルガソリンエンジンの構造、作動を理解する。 2. エンジンの潤滑装置の構造、作動を理解する。 3. エンジンの冷却装置の構造、作動を理解する。 4. エンジンの燃料装置の構造、作動を理解する。 5. エンジンの吸排気装置の構造、作動を理解する。					
3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）					
1. エンジンのバルブタイミングダイアグラム及びバルブの開閉状態が説明できる。 2. 国家試験に係るバルブタイミングの問題の説明ができる。 3. 潤滑装置の構成、部品名称を説明できる。 4. 潤滑装置の構成部品の役割、構造、作動を説明できる。 5. 冷却装置の構成、部品名称を説明できる。（除くファンクラッチ） 6. 冷却装置の構成部品の役割、構造、作動を説明できる。（除くファンクラッチ） 7. 燃料装置の構成、部品名称を説明できる。 8. 燃料装置の構成部品の役割、構造、作動を説明できる。 9. 吸排気装置の構成、部品名称を説明できる。 10. 吸排気装置の構成部品の役割、構造、作動を説明できる。					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）					
・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 ○×、選択肢、記述により100点満点で評価する ・合格点：60点以上 80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満） ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上） 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。					
5. 準備学習					
・「基礎自動車工学」のエンジンに関わるパートを復習しておくこと					

自動車整備科、一級自動車工学科、
自動車整備・カーボディマスター科、
自動車整備・マスターメカニック科、
自動車整備・トータルマスター科

2025年度 授業計画

[illegible]

自動車整備科、一級自動車工学科、 自動車整備・カーボディマスター科、 自動車整備・マスターメカニック科、 自動車整備・トータルマスター科			2025年度 授業計画		
時 期	1年後期	単元	学科	教科名	エンジン構造 1 S
科 目	自動車工学	教科書等 持参品	3級自動車ガソリンエンジン ガソリンエンジン構造		発行日 2025年5月22日
総時限	31時限		3級自動車ディーゼルエンジン		教科 坂本 晃一
必須時限	31時限		ディーゼルエンジン構造		担当 小田 遼平
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当					
自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの構造・作動について指導する。					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）					
1. 電子制御装置の仕組み、各センサの制御内容を理解する。 2. 4ストローク1サイクルディーゼルエンジンの構造、作動を理解する。 3. エンジンの潤滑装置の構造、作動を理解する。 4. エンジンの冷却装置の構造、作動を理解する。 5. エンジンの燃料装置の構造、作動を理解する。 6. エンジンの吸排気装置の構造、作動を理解する。					
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）					
1. 電子制御装置の各センサの名称、役割、制御内容が説明できる。 2. エンジンのバルブタイミングダイアグラム及びバルブの開閉状態が説明できる。 3. 国家試験に係るバルブタイミングの問題の説明ができる。 4. 潤滑装置の構成、部品名称を説明できる。 5. 潤滑装置の構成部品の役割、構造、作動を説明できる。 6. 冷却装置の構成、部品名称を説明できる。 7. 冷却装置の構成部品の役割、構造、作動を説明できる。 8. 燃料装置の構成、部品名称を説明できる。 9. 燃料装置の構成部品の役割、構造、作動を説明できる。 10. 吸排気装置の構成、部品名称を説明できる。 11. 吸排気装置の構成部品の役割、構造、作動を説明できる。					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）					
・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 ○×、選択肢、記述により100点満点で評価する ・合格点：60点以上 80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満） ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上） 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。					
5. 準備学習					
・「自動車の基礎知識2015」のエンジンに関わるパートを復習しておくこと ・「基礎自動車工学」のエンジンに関わるパートを復習しておくこと ・「三級自動車ガソリンエンジン」の1～6章を復習しておくこと					

自動車整備科、一級自動車工学科、
自動車整備・カーボディマスター科、
自動車整備・マスターメカニック科、
自動車整備・トータルマスター科

2025年度 授業計画

[illegible]